



平成22年5月12日

各 位

上場会社名
代表者
(コード番号
問合せ先責任者
(TEL

株式会社 エフアンドエム
代表取締役社長 森中 一郎
4771)
取締役管理本部長 田辺 利夫
06-6339-7177)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成21年10月29日付「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,711	389	379	190	1,329.10
今回発表予想(B)	3,529	272	268	113	793.32
増減額(B-A)	△182	△116	△111	△76	
増減率(%)	△4.9	△30.0	△29.2	△40.3	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	3,701	480	474	293	1,999.66

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,618	379	367	188	1,315.27
今回発表予想(B)	3,467	276	271	119	830.32
増減額(B-A)	△150	△102	△96	△69	
増減率(%)	△4.2	△27.1	△26.2	△36.9	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	3,595	446	440	272	1,854.70

修正の理由

(1) 通期連結業績予想修正の理由

当グループにおける通期連結売上高につきましては、前回予想に対して1億82百万円(4.9%)減少の35億29百万円となる見通しとなりました。要因といたしましては、タックスハウス事業およびその他事業に含まれるパソコン教室運営およびFC指導事業の売上高が前回計画を下回る見通しとなりました。これは、昨今の不況の影響による個人消費の低迷により、授業料収入等の減少を費用の圧縮で補いきれなかったことによります。

また、当期を優秀な人材を積極的に確保する時期とした採用活動を行ったことにより、人員が増加しております。その影響で人件費を中心に販売および一般管理費が増大し、営業利益を押し下げる結果となりました。

さらに、連結子会社であるエフアンドエムネット株式会社において販売しているASPサービス事業において、長引く不況の影響で企業における社員教育への投資が、コストダウンを目的に抑えられたことにより、当初計画と大きく乖離したことなどが影響いたしました。

連結売上高の修正理由を主因として、連結営業利益につきましては前回予想を1億16百万円(30.0%)下回る2億72百万円、連結経常利益につきましては前回予想を1億11百万円(29.2%)下回る2億68百万円となる見通しです。

連結当期純利益につきましては、上記の変動要因に加え、税金費用の負担が一時的に増加しているため当初予想を76百万円(40.3%)下回る1億13百万円となる見通しです。

1株当たり連結当期純利益につきましては、上記の変動要因を受け、前回予想を535円78銭(40.3%)下回る793円32銭となる見通しです。

(2) 通期個別業績予想修正の理由

当グループにおける通期個別売上高につきましては、前回予想に対して1億50百万円(4.2%)減少の34億67百万円となる見通しとなりました。要因といたしましては、(1)通期連結業績予想修正の理由に記載のとおりとなります。

個別売上高の修正理由を主因として、個別営業利益につきましては前回予想を1億2百万円(27.1%)下回る2億76百万円、個別経常利益につきましては前回予想を96百万円(26.2%)下回る2億71百万円となる見通しです。

個別当期純利益につきましては前回予想を69百万円(36.9%)下回る1億19百万円となる見通しです。

1株あたり個別当期純利益につきましては、上記の変動要因を受け、前回予想を484円95銭(36.9%)下回る830円32銭となる見通しです。

以上